

## 知床硫黄山の火山活動解説資料（令和6年9月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1～4）

10日に第一管区海上保安本部の協力により上空からの観測を実施しました。北西側中腹の爆裂火口、東岳大火口及び山頂付近などに噴気は認められませんでした。また、北西側の海岸付近には、これまでの観測と同様に温泉水による変色域が認められました。

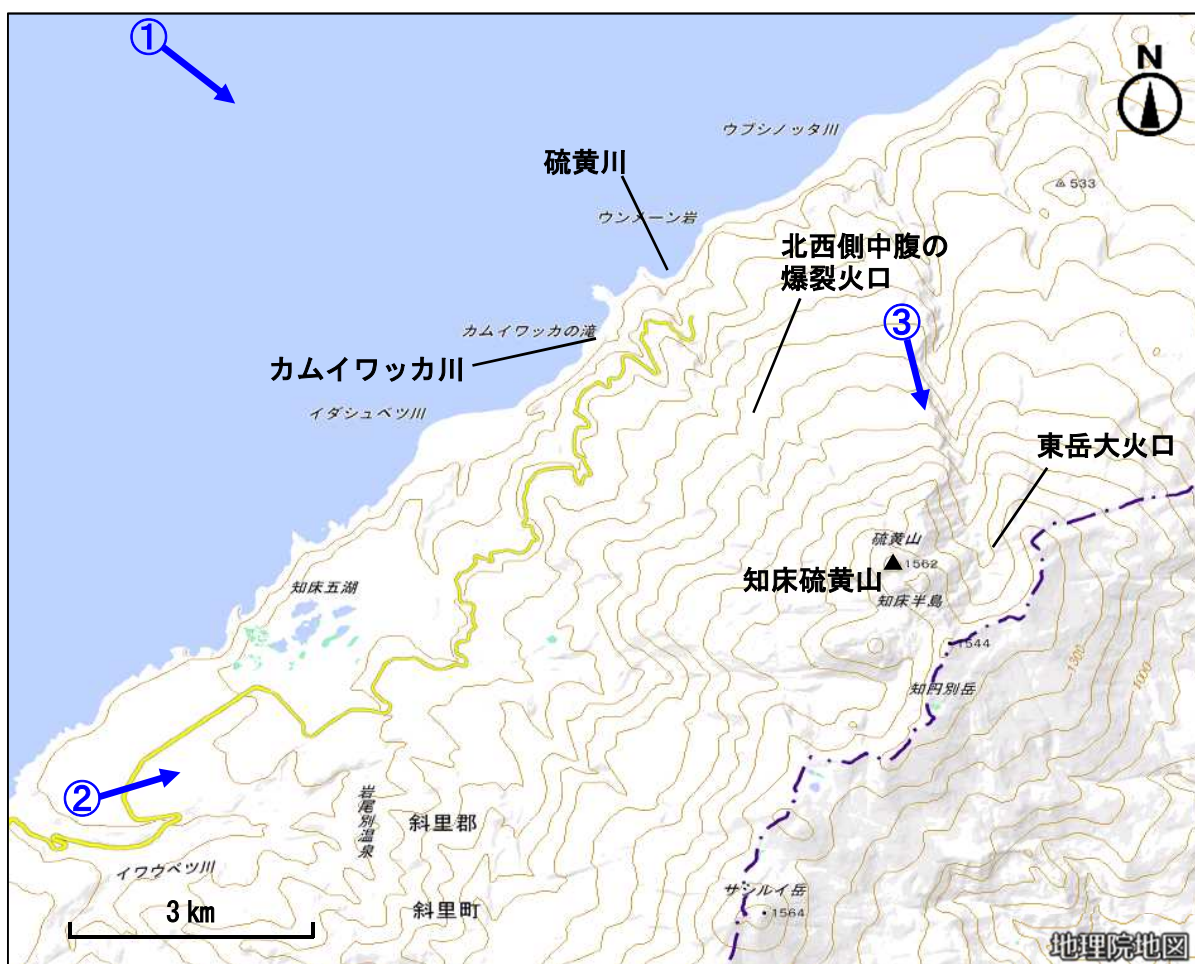


図1 知床硫黄山 周辺図と写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

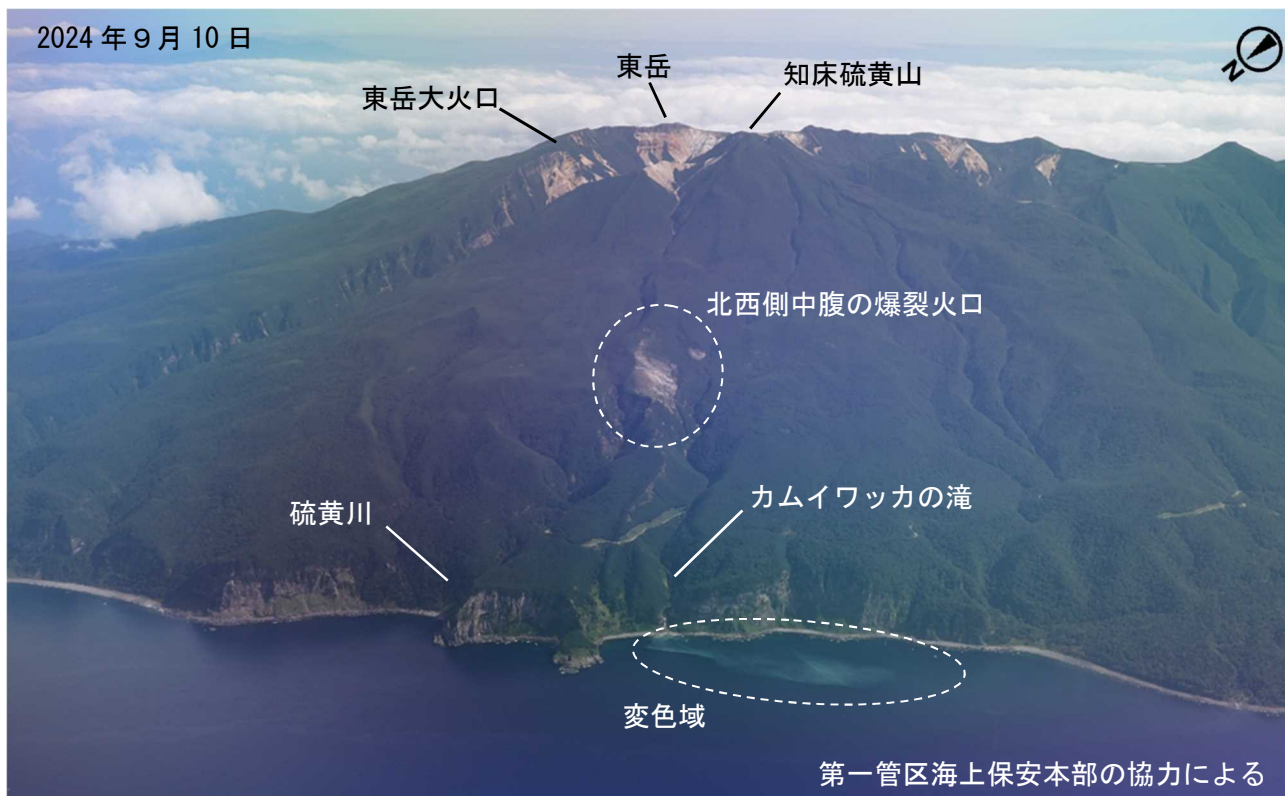


図2 知床硫黄山 山頂部から北西側中腹にかけての状況 北西側上空（図1の①）から撮影  
・海岸付近では温泉水による変色域が認められました。

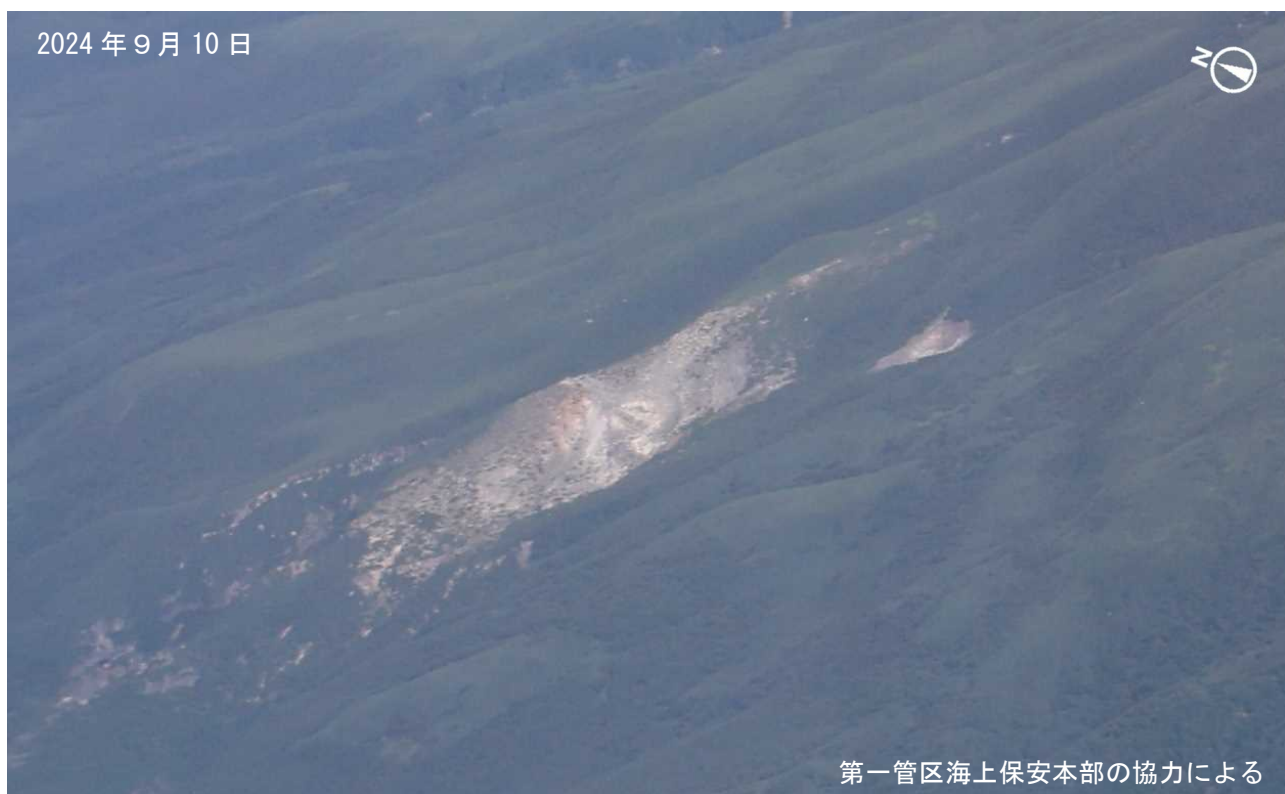


図3 知床硫黄山 北西側中腹の爆裂火口の状況 南西側上空（図1の②）から撮影  
・火口及びその周辺に噴気は認められず、状況に特段の変化は認められませんでした。





図4 知床硫黄山 東岳大火口の状況 北側上空（図1の③）から撮影  
・火口及びその周辺に噴気は認められず、状況に特段の変化は認められませんでした。